

東松島市 教育課程特例校の方針

東松島市教育委員会

(1) 趣旨

グローバル化が進む現代社会において、小学校低学年から英語を中心とした外国語に触れ親しむ機会を設定し、9年間を見通した外国語に関する連続した学びにより、他と積極的にコミュニケーションを図ろうとする人材を育成することを目標に英語活動に取り組む。

(2) 目指す児童像（目標）

英語学習に興味・関心をもち、英語活動を通して他者とかかわりながら表現する楽しさを実感し、積極的にコミュニケーションを図る児童

- ①英語を用いて楽しく活動する児童
- ②身近な場面での会話に親しみ、自ら伝えようとする児童

(3) 指導（活動）の方針

- ①日常的に使う事柄（あいさつ、日時、数など）や身の回りにある事柄についての英語表現を「聞く」「伝える」ことを中心とした活動を行う。
- ②児童の実態に応じて指導内容を工夫し、同じような表現を繰り返し取り扱うことで、親しみをもたせる。
- ③小学校3年生外国語活動のスムーズなスタートの素地を養う。

(4) 年間授業時数

小学校1年生・・・30時間　小学校2年生・・・30時間

(5) その他

- ①指導体制は、外国語専科教員及び英語教科教育指導員と担任とのTT指導を基本とし、ALTの補助による授業も年間10時間程度実施する。
- ②学校は、学校ホームページに英語活動に関するコーナーを設置し、カリキュラム、活動の様子、保護者アンケート等を掲載する。（必須）
- ③外国語専科教員連絡会・研修会を開催し、英語活動の指導方法等に関する研修を適宜実施する。
- ④教科名は「英語活動」とし、各学校で「・・・タイム」等の呼称の設定も可とする。